

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

2. 競技会場入場制限について

- <選手> 試合当日、出場種目がある選手のみ入場可。応援や付き添いは入場できない。
 <役員> 競技役員のみ入場可。
 <引率責任者・同伴者> ・試合当日参加する選手1名に対して1名まで入場可とする。同伴者（小学生以下）は含まない。
 ・引率責任者に関して、再入場をする場合は、Aゲート退場時に受付にてリストバンドを受け取ること。

3. 受付について

対象	受付・チェックシート提出場所	確認証
選手	Cゲート	ADカード
競技役員	1F エントランス	
引率責任者・同伴者 (保護者)	Aゲート	リストバンド

4. 待機場所について

対象	入場ゲート	競技場	補助競技場	その他
選手	Cゲート (B・Dゲート封鎖)	メインスタンド・2F コンコース ※各地区割り有、工事のため制限有	利用可	応援不可 付き添い不可
競技役員	1F エントランス	競技役員控室・競技審判場所のみ		
引率責任者・同伴者 (保護者)	Aゲート	バックスタンドとサイドスタンド利用 可能区域のみ	利用不可	

※待機場所では、新型コロナウイルス感染防止に努め、下記の内容を厳守すること。

- (1) 各席、2席以上空けて待機すること。また、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意する。
 - (2) 各校指定の場所をとることは禁止とし、各自待機場所を確保すること。(各区割り当て場所を利用すること) その際、貴重品等の盗難防止に努めることとする。
 - (3) 選手はできる限り、メインスタンド待機時間を最小限にすることを努める。
 - (4) 引率責任者及び同伴者の入場は参加選手の保護者及びその同伴者であること。
 - (5) マスクを着用すること。(飲食以外)
- ### 5. チェックシートについて ※ チェックシートを当日持参していない場合は入場できない。

対象	種類	備考
選手	選手用	各校顧問より配布してもらうか、HPよりダウンロードして当日持参。
競技役員	競技役員用	HPよりダウンロードして当日持参
引率責任者・同伴者 (保護者)	引率責任者用	顧問より受け取る。選手1名に対して1日1枚までとし、コピー等の複製不可。※ルールを違反する場合は、退場していただく場合があります。

6. 競技場使用について

- (1) コロナウイルス感染防止のため声を出しての応援は行わないこととする。
- (2) 本部前の通行は一切禁止する。
- (3) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (4) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (5) 競技終了後は引率責任者と共にできるだけ早く帰宅すること。
- (6) 競技場内で選手の携帯電話・スマートフォン・パッド等の電子機器の利用・撮影は禁止とする。
- (7) 競技会の運営ルール・マナーに違反している者や注意に対して厳守しない者は退場してもらう場合がある。

7. 競技者の招集について

- (1) すべて現地招集とし、招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 20 分前	競技開始 10 分前
フィールド競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
(棒 高 跳)	競技開始 60 分前	競技開始 40 分前

(2) 招集の手順

- ① 競技者は招集開始時刻までに現地に集合し点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイク・規定外シューズ衣類および競技場内への持ち込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- ② 2種目に出場し、競技時間や招集時間がかさなっている場合は、あらかじめ本人が文書（多種目同時出場届）を競技者係（雨天練習場）に提出すること。用紙はHPからダウンロードして各校で準備すること。
- ③ 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ④ 四種競技出場者の招集については、(2)の①に従って同様の点呼を受ける。
- ⑤ 競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出ること。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。〔TR39.10〕
- ⑥ リレーオーダー用紙は、兵庫中体連陸上競技部HPからダウンロードし、各校で準備すること。

8. TR5 競技用靴の対応について

日本中体連陸上競技部からの通知（県中体連陸上競技部HPに掲載）に従い、次のようにする。

- ① トラック競技用シューズは、WA承認リストあっても計測対象とする。
- ② フィールド競技用シューズのTR5.5適用除外措置
- ③ シューズの計測等

9. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、アスリートラングで掲載されている番号で示す。
- (2) (着順ではなく) 時間を元にしてTR20.3.2によるランキングの順位が同じな場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。〔TR21.2〕
- (3) 「On your marks (位置について)」または「Set (用意)」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。〔TR16.5.2〕
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。
- (5) 混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格させられる。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者はすべて失格とする。〔TR16.8〕
- (6) 短距離走では、競技者安全のためフィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (7) 競技者に対する助力については、TR6.2に気をつけること。
- (8) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (9) 競技者は助走や踏切をやすくするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔TR25.3.1〕
- (10) リレー競技を行う場合、競技者は大きさが最大50mm×400mmで他の恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所自らのレーン内に張ることが許される。〔TR24.4〕
- (11) リレーオーダー用紙はHPからダウンロードし各校で準備すること。リレー競技のリレー・チームの編成は、1日目13時00分～競技終了時、2日目第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、顧問（競技役員）が中央ロビーリレー係に正式に申告しなければならない。〔TR24.11〕
- (12) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。〔TR25.3.2〕
- (13) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。〔TR4.3〕

10. 競技による入退場について

- (1) 入場は競技の妨げにならないよう招集場所に行くこと。（すべてダグアウトを利用すること。）
- (2) 走り終わった者はダグアウトのみ利用し、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。その際、競技の妨げにならないようにすること。
- (3) フィールド競技の競技者において、競技終了後は競技役員の指示に従って退場すること。
- (4) 競技終了後、準備されている消毒液で手指を消毒すること。

11. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (2) ウォーミングアップは個別で行うこと。
- (3) 競技場入退場時間内に行うこと。
- (4) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (5) 競技場周辺での練習（駅伝試走も含む）は禁止する。
- (6) ハードル練習について ※各校のハードルの持ち込みは禁止する。
 - ・1日目の四種競技については、7:30～8:40までメイン競技場に設置しているものを使用すること。
 - ・2日目については、サブトラックにて招集開始時刻1時間半前より設置するので、それを使用すること。
- (7) 投擲練習について
 - ・今大会は投擲練習会場を設置しない。
 - ・競技場内・補助競技場・競技場周辺での練習は不可とする。

12. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。〔TR5.7〕
- (2) アスリートビブス(腰)は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

13. フィールド種目の計測ラインについて

フィールド種目において、参加標準記録に達しない場合は計測しない場合がある。
 ※計測基準記録は、天候・その他の都合で変更することもある。

14. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技			
走高跳	男子	1m45	1m50 ~ 1m70	5 cm ずつ	1m70 以上	3 cm ずつ
	女子	1m25	1m30 ~ 1m50	5 cm ずつ	1m50 以上	3 cm ずつ
棒高跳	男子	2m00	2m20 ~ 3m20	20 cm ずつ	3m20 以上	10 cm ずつ
四種競技 (走高跳)	男子	1m30 1m40	1m35 ~ 1m55	5 cm ずつ	1m55 以上	3 cm ずつ
	女子	1m10 1m30	1m15 ~ 1m45	5 cm ずつ	1m45 以上	3 cm ずつ

- ①走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。
- ②ジャンプオフ（第1位決定戦）するためのバーの上げ下げは、走高跳は2 cm、棒高跳は5 cmきざみとする。

〔TR26.9.4〕

15. 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用すること。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。
- (2) 棒高跳用ポール以外は競技場備え付けの器具を使用する。(スターティングブロック・バトン・砲丸・円盤など) 競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

16. リザルト・次ラウンドスタートリストについて

リザルトはすべてWEBに掲載する。また、次ラウンドスタートリストについては雨天練習場に掲示する。

17. 表彰について

- 個人 各種目1位～3位に表彰状を授与する。
- 総合 男女各総合優勝校に表彰状と優勝杯を授与する。
 男女各総合2位校・3位校に表彰状を授与する。
 男女総合優勝校に神戸大学杯を授与する。

18. その他

- (1) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各校の責任において、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用すること。
- (2) 大会・規定申し合わせ事項等については競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (3) 競技会当日、午前6：00に神戸市に気象警報（波浪以外）が発令された場合、その日の競技は中止とする。
 なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開閉会式を行わない。
- (5) ABC 会議場前通路は役員のみ利用するので通過・入場を認めない。
- (6) 各校ミーティングは行わないこととする。後日各学校で行うこと。
- (7) 競技主催者側でも消毒液を準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。
- (8) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (9) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (10) 新型コロナウイルス感染拡大防止のためマーシャル係が競技場内を巡視します。注意事項に反している場合、係より注意を行います。従わない場合は競技場より退場していただく場合があります。
- (11) メイン・補助競技場共に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、更衣室の利用を禁止する。
- (12) 競技を終えた者は、速やかに帰路につくこと。